

平成29年度尾張旭市地域福祉計画推進会議 会議録

- 1 開催日時  
平成29年8月21日（月）午後1時30分から午後4時まで
- 2 開催場所  
尾張旭市役所南庁舎3階 302・303会議室
- 3 出席構成員  
松宮委員、森委員、若杉委員、山本委員、丹羽委員、秋田委員、原田委員、武藤委員（8人）
- 4 欠席構成員  
宮島委員（1人）
- 5 傍聴者数  
なし
- 6 出席した事務局職員  
尾張旭市 健康福祉部長 若杉浩二、福祉課長 加藤秀樹、  
福祉課長補佐 阪良子、福祉課主事 北川歩  
社会福祉協議会 事務局長 森修、事務局次長 森重憲、  
主査 森島一樹
- 7 議題等
  - (1) 進捗状況と内部評価の結果について
  - (2) 自由意見交換
- 8 会議の要旨

1 はじめに	
福祉課長	本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、平成29年度尾張旭市地域福祉計画推進会議を開催いたします。 議題に入りますまで、私福祉課長の加藤が司会・進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、次第に従い始めてまいりたいと思います。 はじめに市社会福祉協議会の森局長よりごあいさつ申し上げます。
事務局長	《あいさつ》
福祉課長	本日の会議には、構成員9名のうち、8名の出席をいただいております。宮島委員におかれましては、都合により欠席の旨の連絡をいただいております。

福祉課長	《推進会議及び進捗管理方法について説明》
	《会議の公開について説明》
	<p>それでは、次第2「議題」に移りたいと思います。本日、会議資料として送付させていただきました本推進会議の開催要綱第4条第2項の規定により、座長が会務を総理することとなっておりますので、議題の進行につきましては、座長の松宮委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは松宮座長お願いします。</p>
3 議題	
松宮座長	<p>では、次第2の議題に沿って進めてまいります。</p> <p>資料が多いので、基本目標ごとに4つに分けて、説明と質疑を行い、その後、質問ご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは、基本目標1について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	《事務局より説明》
松宮座長	ただいまの内容について、ご質問、ご意見はありますか。
武藤委員	<p>社協ホームページに関して、見やすくなった。校区社協としても活動しているが、校区社協でも活用したい。</p> <p>おもちゃ図書館の活動では、ホームページを見て来たという利用者があり、今後はホームページが大切になってくると感じている。</p> <p>市のホームページは項目が多く、検索しづらい。</p>
事務局長	社協では、ホームページを活用し、本計画にも多く掲載されている情報の発信に役立てたい。
松宮座長	情報の周知方法は計画策定時から問題となっていた重要な点である。情報に関して何か他にご意見はありますか。
丹羽委員	<p>翻訳グループあけぼので声の広報の活動をしているが、市役所1階のパソコンにイヤホン等がなく声の広報を活用できないと意見を出しましたが、現在は、イヤホンが設置されている。</p> <p>イヤホン以外の機器の方が良いのではないか。</p> <p>また、市ホームページは声の広報にたどり着くまでに時間がかかる。</p>

部長	<p>イヤホン以外の機器について、担当課に意見として伝える。</p> <p>市ホームページについては、数年前にリニューアルしたが、すべての市民の方が使いやすいものではないことは承知している。</p> <p>今後、時間はかかると思うが、使いやすさを検討していく。</p>
松宮座長	<p>先ほど意見があったおもちゃ図書館の利用者は、どのようにHPにたどり着いたか。</p>
武藤委員	<p>おもちゃ図書館のことを知っており、パソコンで検索したと聞いている。</p>
森委員	<p>シニアクラブ等の団体から補助金に関する提出書類が多く大変と聞いた。書類作成の負担が大きく、地域の役員を担う人材の負担となっている。もう少し書類を簡略化することはできないか。</p>
部長	<p>以前より同様の意見をいただいている。</p> <p>補助金を交付するにあたり、執行内容が適正かを把握させてもらうため、領収書等の書類が必ず必要となる。</p> <p>市としては、シニアクラブの活動を支援しているが、この事務のために煩雑になり、活動が廃止となってしまつては、本末転倒である。</p> <p>事務手続きには、地区公民館に校区担当職員が配置されているため、活用してほしい。</p>
若杉委員	<p>補助金の申請団体によっては、会長が高齢で負担感を大きく感じている団体もいる。</p> <p>こういった問題が役員の成り手不足につながっている。</p>
松宮座長	<p>校区担当職員を活用し、事務負担を軽減してほしい。</p> <p>また、今後事務書類の簡略化する方法も検討して地域活動の推進につなげてほしい。</p>
松宮座長	<p>それでは、次の基本目標2について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
松宮座長	<p>ただいまの内容について、ご意見、ご質問などございますか。</p>
松宮座長	<p>今後実施予定の新規施策の男性を対象とした長期的な</p>

	ボランティア養成講座の実施は新たな取り組みか。
局長	平成29年度から実施する新規事業である。
事務局（森島）	昨年度ボランティア連絡協議会と知多市に視察研修へ行った。知多市では、男性のボランティアが8割を占めており、男性ならではのボランティアが実施されていたため、ボランティア連絡協議会と男性のボランティア養成講座の実施を検討している。
丹羽	時間のあるシニアの男性を対象に講座を実施し、まずはボランティア団体の活動内容などを知ってもらいたい。
松宮座長	ボランティアの養成が基本目標1にもつながることを期待している。
山本委員	<p>子ども会の活動と同時にジュニアリーダーの活動も行っている。ジュニアリーダーには今年中高生23人が入った。</p> <p>子ども会連絡協議会は市が所管しており、ジュニアリーダーは社協が所管している。所管組織が違うためつながりが希薄となってしまうことが問題となっている。</p>
局長	市の担当者も異動があり、常につながりを持って実施することは難しいため、連携して実施していきたい。
山本委員	<p>市子連では、子どもが減っていく中で、現状維持か衰退するかが問題となっており、衰退させないために中高生の子どもたちをどのように育成していくかが課題だと考えている。</p> <p>市も市子連も人が変わり、変わった時に受け取り方が違うと方法も変わってしまう。子どもを育てていくため、連携について検討していきたい。</p>
松宮座長	高齢者の参加に関しての課題が多いが、次の世代をどのように育成するのか。どのように地域に愛着を持ってもらうのが課題となってくるため、検討していただきたい。
局長	前回の会議で赤い羽根共同募金について、子どもが自宅で紙を切り抜き、封筒を作成できる用紙を配布し、それに募金を入れて学校に持ってくるようにしてはどうかとの意見があり、今年度、提案いただいた方法で実施している。

松宮座長	それでは、次の基本目標3について、事務局より説明をお願いします。
事務局	《資料に基づき説明》
松宮座長	ただいまの内容について、ご意見、ご質問などございますか。
松宮座長	計画策定時から、相談窓口が分かりづらいとの意見がある。 市役所内での相談窓口の情報共有会を実施したとあったが、市と社協では実施しているか。
局長	地域包括支援センターは高齢者の相談窓口となる。コーディネーターはすぐに出来るが、身体的な問題等により窓口まで来れない人などがある。コミュニティソーシャルワーカーの有資格者がいても日常業務に追われ、現場まで行くことが出来ない。今後、地域包括ケアシステムなどでどの程度まで網羅できるかを市と協議していく。 コミュニティソーシャルワーカーを職員が兼務すれば効率的に事業を進められる。
若杉委員	相談業務において、実績が目標を大幅に上回っているが、この件数は、どのように考えれば良いか。
局長	この数値は、1人1件ではなく、相談の延べ回数を計上している。
部長	実際には目標で数値管理はしているが、件数ではなく、今まで相談できなかった人がなんらかの形で相談につながっているという点が重要。 相談が増加していることは、周知の効果もある。
若杉委員	市民で困っている人が増加したということではなく、周知できているということか。
松宮座長	困っている人が相談窓口につながっているということが大切。 実際には、どのように解決したかも重要となる。
森委員	認知症ケアパスについて、他市では、もう少し事例の説明がある資料をもらえると聞いた。
部長	本市は、近隣では他市より早く認知症ケアパスを導入した。見直しがなされておらず、説明不足な点もあると考えている。
森委員	どういう時にどのような対応ができるか等掲載してほ

	しい。また、字も大きくしてほしい。
部長	担当課に伝える。
松宮座長	それでは、次の基本目標4について、事務局より説明をお願いします。
事務局	《資料に基づき説明》
松宮座長	ただいまの内容について、ご意見、ご質問などございますか。
武藤委員	<p>校区社協の活動で、盆踊りを実施した。小学校に声かけし、子どもにお手伝いしてもらったが、楽しんでやってもらえた。</p> <p>きっかけがあれば、未来の担い手である子どもが育つと思う。しかし親が忙しく、積極的に参加してもらえないこともある。</p> <p>また、赤い羽根の取り組みで、校区社協より学校へ取り組みをお願いしてもよいか。</p>
局長	学校の募金については、校長会を通じて、児童会・生徒会にお願いしている。声掛け程度であれば問題ないが子どもに主体を持たせているため、PTAとして実施を依頼することはやめてほしい。
武藤委員	高齢者について、校区社協の活動で、孤食をなくすことを目的として弁当の宅配の取り組みを行っている。しかし、宅配をするが自宅にて1人で食べることになっている。集まることも難しく、送迎についても検討したが、何かあったときの対応ができない。他地区では企業が協力してくれている。例えば、市で行っているタクシー券のようなものを社協で配布してもらえたら活動の幅が広がるのではないか。
若杉委員	校区社協で活動するにあたって、独居の高齢者について、シニアクラブに加入しているか確認しているか。
武藤委員	シニアクラブのない地区もある。
若杉委員	<p>シニアクラブのない地区については、シニアクラブが復活できるよう地域で声掛けしているがなかなか難しい。</p> <p>シニアクラブの活動が独居の方の孤立を避けられる。</p> <p>校区社協、シニアクラブ、子ども会等もっと連携して活動できると良い。</p>

事務局長	<p>2025年問題に向けた地域包括ケアシステムにおいては、介護事業者だけではなく、地域住民も高齢者を助けることを想定している。</p> <p>社協では、生活支援コーディネーターを市から受託している。その業務は地域のサロン作りと生活応援サポーターの養成。生活応援サポーターは日常生活に困った高齢の方に1コインで簡単な支援を行うもの。</p> <p>校区社協での活動の送迎に生活応援サポーターを活用してもいいのではないか。</p>
松宮座長	<p>今後動き始めた後に、問い合わせ先等が分かるようにしていただきたい。</p>
松宮座長	<p>それでは、次の校區別アクションプランについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
松宮座長	<p>ただいまの内容について、ご意見、ご質問などございますか。</p>
松宮座長	<p>校区ごとに評価のバラつきがあり、厳しい評価をしている校区もある。</p>
若杉委員	<p>どの校区も高齢者を意識した施策があり、シニアクラブとしてはありがたい。</p>
森委員	<p>校區別アクションプランは、全校区が集まり意見交換しながら作成した。他の校区と競い合うように難しい取り組みも掲載されている。</p> <p>3世代を対象とした取り組みがあり、各地区で行われているが頻度に差がある。</p> <p>地域のイベントには、中学生の参加が難しい。親が参加するため、小学生の参加は期待できるが親の都合に左右される。</p> <p>高齢者の取り組みでは、シニアクラブとして取り組むべきこと、校区社協が取り組むべきことなどがある。今後自分で判断できない人が増加する中で、どのように対応するかが大切。</p>
松宮座長	<p>校区だけで行うのではなく、市や社協と取り組んだり、他の団体と一緒に実施すればできることがある。さまざまな団体が関わりながら進めてほしい。</p>
原田委員	<p>町内会の役員を務めている友人から、負担が大きいと</p>

	聞いている。町内会に入ることを躊躇してしまう。
森委員	町内会の役員については、個人を犠牲にしてまで行うものではなく、負担が一部の家庭にかかってはいけない。
松宮座長	一部の人に負担がかかっているのであれば、本末転倒。方法を検討していくことが必要
山本委員	市子連では、可能な人に無理のない時間だけ手伝いを頼んでいる。それでも足りない場合は、ボランティアに依頼している。
松宮座長	それでは議題(4)自由意見交換に移りたいと思います。 本日の会議についてのご意見、また、日ごろ、本市の地域福祉について、感じられていることなどを自由にご発言いただく時間とさせていただきます。
松宮座長	それでは、意見もないようですので、これで議題をすべて終了します。 議題の進行につきまして、ご協力いただきありがとうございました。 議題が終了しましたので、司会進行を事務局にお戻ししたいと思います。
3 その他	
事務局	《次回開催時期等の連絡》
福祉課長	以上を持ちまして平成29年度尾張旭市地域福祉計画推進会議を閉会させていただきます。 長時間にわたり、ご協力いただきまして、ありがとうございました。